

最高品質の放送を

取扱説明書



# Scan Do HD

ゲンロック入力、光出力付 DVI コンピュータービデオ  
-HD/SD/SDI スキャンコンバーター

高解像度の DVI コンピューター・ソ  
スを、放送あるいはプロ用編集シ  
ステムとの統合に、SMPTE 規格の  
HD または SD-SDI 信号に変換しま  
す。

Scan Do HD には、コンピュ  
ーへの特別なソフトウェアのイン  
ストールや接続する機器は必要あ  
りません。



## World Headquarters

55 Cabot Court  
Hauppauge, New York 11788 USA  
Tel: (631) 273-0404  
Fax: (631) 273-1638  
info@commspecial.com

## Asia

Communications Specialties Pte Ltd  
100 Beach Road  
#22-09 Shaw Tower  
Singapore 189702  
Tel: +65 6391 8790  
Fax: +65 6396 0138  
csiasia@commspecial.com

[commspecial.com](http://commspecial.com)

Scan Do HD の同梱品 .....	3
はじめに .....	4
<b>設置方法</b> .....	5
設置手順 .....	5
出力 .....	5
サポートする DVI 入力 .....	5
映像標準の選択 .....	5
<b>操作方法</b> .....	6
<b>前面パネルの操作 :</b>	
出力フォーマットの設定 .....	6
映像の移動 .....	7
映像のサイズ .....	8
映像の見え方の変更 .....	9
ゲンロック・モード .....	9
テンロック位相 .....	9
アンチフリッカー低減 .....	9
テスト信 .....	10
工場出荷設定へ戻す .....	10
フロントパネルボタンのロック .....	10
光出力の On/Off .....	10
オンスクリーン・ディスプレイの On/Off .....	10
<b>Scan Do HD の遠隔操作 :</b>	
イーネット・ポート .....	11
IP アドレス .....	11
RS-232C .....	11
<b>トラブルシューティング</b> .....	12
<b>アクセサリ</b> .....	13
<b>保証について</b> .....	14
<b>証明書について</b> .....	15
<b>仕様</b> .....	16
<b>Scan Do HD の購入設定記録</b> .....	17
<b>機能設定早見表</b> .....	19

- 1 - Scan Do HD 本体
- 1 AC 電源ケーブル
- 1 DVI コンピューター入力ケーブル
- 1 CAT5 イーサネットケーブル
- 1 RS232C シリアルケーブル
- 1 取扱説明書(本書)
- 1 リモートコントロール・マニュアル
- 1 前面パネル操作早見表(英語)
- 1 アクセサリーバック(ヒューズ、ゴム足)

#### オプション・アクセサリ

- ・ AC 電源ケーブル(北米、英国、オーストラリア用)
- ・ HD/SD-SDI 光受信機
- ・ Model 2100 VGA/コンピュータービデオ-HDMI/DVI コンバーター  
(Scan Do HD の入力拡張)

光ファイバーケーブル、同軸ケーブル

**Scan Do HD の追加アクセサリは 13 頁に記載**

このたびは、高性能 DVI コンピュータービデオ-HD/SD-SDI スキャンコンバーター-Scan Do HD をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

Scan Do HD は、高解像度のコンピューター-DVI ビデオソースを SMPTE 規格の HD-SDI 信号または SD-SDI 信号に変換し、送出やプロ用編集システムとの統合に用いることが出来ます。

弊社の全ての製品と同じように、Scan Do HD に対しても、継続したサポートを行う責任があります。サポートが必要な場合、弊社または弊社代理店にコンタクトをお願いします。

また、Scan Do HD に関する分かり易いウェブサイトをご用意しております。  
<http://www.scandohd.jp> にアクセスしてください。

**火災や怪我を防ぎ、安全にお使いいただくために、操作上の注意事項をお守りください。**

**適切な電源ケーブルをお使いください。** 本製品用の規格に適合したケーブルをお使いください。

**アースについて。** 本製品は、電源ケーブルのアースを取りお使いください。感電を防ぐために必ず接続してください。また、入力と出力を接続する前に、アースが接続されているか、必ず確認をお願いします。

**過負荷の防止。** 本製品は単相電源用です。過電流防止のためヒューズを接続しています。このため、安全におつかいいただく上で、アース付の電源ケーブルを必ずお使いください。また接続する電源に十分な容量があるかご確認の上お使いください。

#### **ラックマウントで使用する場合の注意事項**

- \* 使用環境の温度は 0 ~ +50 です。ラックに取り付けの場合、適切な冷却のスペースを側面に設けてください。卓上で使う場合、2 インチのスペースを側面に設けてください。本体後部には、ケーブルの切断を防ぐため、3 インチ程度のスペースを設けてください。
- \* 本体内と周辺の空気の流れが悪いと本体の性能と安全に影響します。適切な空気の流れにより使用温度が守られ、上昇を防ぐことができます。ラックマウントに際しては、本体を安全に確実に取り付けるため、上部に直接機器や物を載せないでください。

簡単にお使いいただくために、右記のステップにしたがって設置してください。

- ステップ 1** : コンピューターと Scan Do HD の電源を落として、コンピューターの DVI モニターポートから DVI モニターを取りはずしてください。
- ステップ 2** : 付属の DVI 入力ケーブルの片方を DVI モニターポートへ、もう片方を Scan Do HD の背面パネルにある DVI-D と記されたコネクタに接続してください
- ステップ 3** : DVI モニターを接続してください。もう1台接続する場合は、DVI-D Loop と記されたコネクタに接続します。
- ステップ 4** : 付属の AC 電源ケーブルを Scan Do HD の電源コネクタに接続してください。電源ケーブルの片方をコンセントに接続してください。
- ステップ 5** : Scan Do HD の HD/SD-SDI 出力を、ビデオ機器に接続してください。必要であれば、全ての出力を同時に使えます。次の章を参照ください。
- ステップ 6** : Scan Do HD の電源を最初に入れてください。次に、DVI モニター、最後にコンピューターの電源を入れてください。前面パネルの Locked and Valid と記された緑色の LED が点灯し、コンピューターから有効な信号を受けていることを示します。

## 出力について

**HD/SD-SDI (2)** : これらの出力は SMPTE292M または 259M とコンパチブルなシリアルデジタル信号を発生します。同時に出力される信号は同じ信号で、2つの異なる信号は発生できません。これらの出力で生成される信号は、ラインカウント、垂直レート、インターレース/プログレッシブ、レート分割の設定により決定されます。

**ご注意** : HD/SD-SDI を全く使わない場合、出力アイパターンを改善するために、75 のコネクタで終端処理を行ってください。

**光出力** : この出力は銅線による HD/SD-SDI 出力の光版です。光出力は SMPTE292M あるいは 297M で、SC コネクタを使います。また、シングルモードとマルチモード(62.5 μ または 50 μ)のファイバーケーブルを使います。工場出荷設定は OFF です。

## DVI 入力について

**DVI ループスルー** : この出力は、ローカルの DVI モニターの接続に使います。DVI 入力にどんな入力があるのかを表示します。Scan Do HD の電源が入っていると、この出力に接続されたモニターの EDID 情報は、コンピューターが起動すると、その DVI ポートに渡されます。もし、モニターがこの出力に接続されていない場合、Scan Do HD は EDID 情報をコンピューターに伝えます。

Scan Do HD は DVI シングルリンク・デジタルビデオ信号のみをサポートします。DVI-I ソースをも強いると、シングルリンクのデジタル信号のみが使われます。

## 映像標準の選択

出力映像標準とタイミングは、ラインカウントと垂直レート、インターレース/プログレッシブ、レート分割の前面パネルでの設定の組み合わせで決まります。

Scan Do HD は、選択される有効な SMPTE 標準のみを受け付けます。前面パネルから映像標準を選択する場合、Setting the Output Format (出力フォーマットの設定)を参照してください。

## 出力形式を設定する

## 出力フォーマットボタンの操作

走査線数の変更



垂直レートの変更



レート分割の変更



インターレース/プログレッシブの切替



## 特別な操作についての注意：

NTSCまたはPAL出力形式に対して、LINE COUNT ボタンで 483 または 576 のみを選択する必要があります。どちらかの選択がなされると、他の全ての選択が含まれます。

Scan Do HD は無効な数値が設定され、無効な LED が点灯しないよう常に検知し、正しい設定を行います。このため、2、3秒後に出力形式が設定されます。

LINE COUNT ボタンを押した後、垂直レート、レート分割、I/P を順序に関係なく設定できます。

誤って出力形式モードを選択した場合、4～6秒待ってください。Scan Do HD は出力形式を変更せずに、出力形式モードから出ます。

希望する出力形式は前面パネルにある4つのボタンの組み合わせにより設定します。

**ラインカウント(LINE COUNT ボタン)：**

映像の有効な水平走査線の数を決定します。

**垂直リフレッシュレート(VERT RATE ボタン)：**

基準となる出力の垂直リフレッシュレートを決定します。プログレッシブの場合は1秒間のフレーム数、インターレースの場合は1秒間のフィールド数です。

**レート分割(RATE DIV ボタン)：**

ベースとなる垂直レートが1.001で割れるかどうかを決定します。例えば出力垂直フィールドレートを59.94に設定する場合、垂直レートを"60"に、レート分割を"1/1.001"に設定します。

**インターレース/プログレッシブ(I/P ボタン)：**

出力形式をインターレースあるいはプログレッシブに設定します。全てのラインカウントと垂直レートに対応している訳ではありません。

注：上記の設定可能な出力フォーマットの組み合わせは、本取扱説明書の仕様の章に特定されています。

## 特定の出力フォーマットの設定方法

**ステップ 1：** LINE COUNT ボタンを押します。全ての LED がゆっくり点滅します。選択する数値に達するまでボタンを押し続け、2、3秒待ちます。選択が無効な場合 LED は点灯しません。

**ステップ 2：** LINE COUNT を決めると、有効な VERT RATE、RATE DIV、I/P が点滅し、デフォルト設定が点滅します。選択が無効な場合点灯しません。

**デフォルト値とする場合、更なる設定は不要です。**

垂直レートを変更する場合、VERT RATE ボタンを押して数値を選択し、2、3秒待ちます。

**ステップ 3：** 垂直レートの選択後、有効なレート分割、I/P 設定が点灯し、デフォルト設定が点滅します。選択が無効の場合は点灯しません。

**デフォルト値とする場合、更なる設定は不要です。**

レート分割を変更する場合、RATE DIV ボタンを押して数値を選択し、2、3秒待ちます。

**ステップ 4：** レート分割を選択した後、有効な I/P 設定が点灯し、デフォルト設定が点滅します。無効な場合は点灯しません。


















**デフォルト設定とする場合、更なる設定は不要です。**

I/P を変更する場合、I/P ボタンを押して数値を選択し、2、3秒待ちます。

これで出力形式が設定され、選択した設定が点灯します。

## 映像の移動

## PAN ボタンの操作

PAN モードに入る		LED 点灯まで
左右に移動	 or 	
上下に移動	 or 	
垂直中心へ移動	 + 	
水平中心へ移動	 + 	
左上角へ移動	 + 	
左下角へ移動	 + 	
右上角へ移動	 + 	
右下角へ移動	 + 	










PAN : PAN ボタンを押して PAN モードに入ります。ボタンの右側の LED が点灯し、移動が可能となります。LEFT、RIGHT、UP、DOWN の矢印キーで映像の位置を移動します。細かなステップで押し続け停止することで、より早く位置の調整ができます。

矢印ボタンを組み合わせると同時に押すと、パンモードで特定の機能が設定できます。

- \* 上向き矢印と下向き矢印ボタン : 映像を垂直方向の中心に移動。
- \* 左向き矢印と右向き矢印ボタン : 映像を水平方向の中心に移動。
- \* 左向き矢印と上向き矢印ボタン : 左上角に位置する入力映像を左上角へ出力する。
- \* 左向き矢印と下向き矢印ボタン : 左下角に位置する入力映像を左下角へ出力する。
- \* 右向き矢印と上向き矢印ボタン : 右上角に位置する入力映像を右上角へ出力する。
- \* 右向き矢印と下向き矢印ボタン : 右下角に位置する入力映像を右下角へ出力する。

## 映像のサイズ調整

## ズームボタンの操作

パラメーター選択		
拡大		
縮小		
フルスクリーン、アスペクトレシオを維持	 + 	
フルスクリーン、水平、垂直	 + 	
1対1、水平、垂直のみのモード時	 + 	

ZOOM : このボタンで水平走査線上の映像のサイズを拡大あるいは縮小します。上向きと下向きの矢印ボタンそれぞれで、拡大縮小します。細かなステップを続けて押し続け停止することで、より早くサイズの調整ができます。

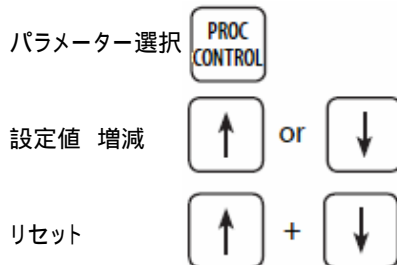
H & Vモードでは、水平出力、垂直出力が影響を受けます。

Hモードのみでは、水平出力のみが影響を受けます。

Vモードのみでは、垂直出力のみが影響を受けます。

Zoom モードでは、矢印ボタンを同時に組み合わせると同時に押すことで、特定の機能が働きます。

- \* 上向き矢印と下向き矢印 : 入力したアスペクトレシオを維持しながら映像を一定方向に拡大、縮小します。  
水平のみ、あるいは垂直のみのモードのとき、上向き矢印ボタンと下向き矢印ボタンは、1対1の入力/出力比率となります。
- \* 左向き矢印ボタンと右向き矢印ボタン : 水平垂直モードのとき、映像を水平垂直方向のフルスクリーンに拡大します。水平のみのモードでは水平方向に、垂直のみのモードでは垂直方向に拡大します。

**映像の見え方を変更する****PROC CONTROL ボタンの操作**

**PROC CONTROL** : この機能は、映像の見え方、輝度、コントラスト、ヒュー、サチュレーション、シャープネスを変更する機能です。PROC CONTROL ボタンを押すと、順番にそれぞれの機能を選択できます。操作したい機能を選択し、上向き矢印ボタンと下向き矢印ボタンをそれぞれ押して、映像のパラメーターの増減の度合いを調節します。

PROC CONTROL モードで、上向き矢印ボタンと下向き矢印ボタンを同時に押すと、選択した機能のデフォルト値に戻すことができます。

**ゲンロックモード****ゲンロックボタン操作**

設定/解除



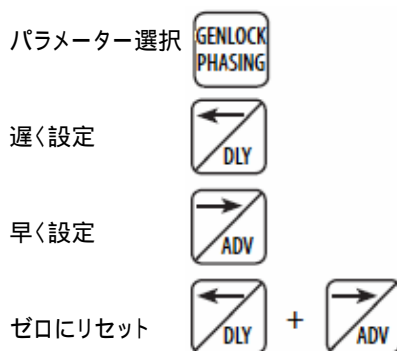
ゲンロックボタンは、ゲンロック・モードのオン/オフを行います。ゲンロック・モードがオンのとき、Scan Do HD はゲンロック入力を参照し、信号があるかどうか判断します。この時、Searching LED が点灯します。信号があると、そのフォーマットが選択した出力フォーマットに対応しているかどうかを判断します。有効な信号の場合、Locked LED が点灯します。

Scan Do HD は NTSC または PAL のコンポジットビデオまたは HD トライレベルシンクに対応しています。ゲンロックを実効するには、垂直レートと出力垂直レートが合致する必要があります。そのため、例えば NTSC 信号にロックし、1080i/59.94 出力を生成します。

工場出荷時のゲンロック機能はオフです。

Scan Do HD をゲンロックするには、ゲンロック信号を本体背面パネルの Genlock Input 端子に接続します。Genlock Loop Through 端子に接続するゲンロック入力からのパッシブ・ループスルーがあります。

注 : ゲンロック・ループスルーを使わない場合、75 コネクターでの終端が必要で

**ゲンロック位相****ゲンロック位相ボタンの操作**

GENLOCK PHASING ボタンと DLY と ADV 矢印ボタンは、ゲンロック・リファレンスに関する Scan Do HD の出力位相を設定します。水平、垂直、ピクセルクロック位相が調整できます。

GENLOCK PHASING ボタンを押すと、3つの LED で位相のパラメーターを表示します。

意図するゲンロック位相モードが可能な時、左向き矢印/DLY ボタンと右矢印/ADV ボタンで位相遅延を調節します。DLY と ADV ボタンを同時に押すと、位相モードをゼロ・オフセットにリセットできます。

注 : NTSC と PAL 出力フォーマットでは、位相を調節する前に、垂直位相をゼロ・オフセットに設定します。

注 : クロック位相は 840(pS)のインクリメントで、TV ウェーブフォーム・モニターとラスタライザー上では見えない場合があります。

**アンチ・フリッカー機能**

## アンチ・フリッカーボタンの操作

自動モード		LED 消灯まで
手動モード		LED 点灯まで
レベルの設定 1-8 段階		LED 点灯中

ANTI FLICKER ボタンは 8 段階のステップでフリッカーリダクションが可能です。この機能は、垂直ディータイルを犠牲にして主にインターレース出力設定で垂直フリッカーを低減するために使います。



ANTI FLICKER ボタンの LED が消灯しているときは、自動モードで、検出された入出力パラメーターに基づいて最善のフリッカー低減レベルが自動的に選択されます。

ANTI FLICKER ボタンを押すと、手動モードになり、LED が点灯します。連続してボタンを押すと、アンチフリッカーのレベルは 1 (最小値) から 8 (最大値) まで設定できます。レベル 8 の後で、ボタンをもう一度押すと、LED が消灯し、自動モードに復帰します。

OSD (オンスクリーンディスプレイ : ディスプレーの設定画面を画面に表示して操作する機能) が可能な場合、アンチフリッカーリダクションモードとその値は出力ディスプレイの左上部の角に表示されます。

**テスト信号**

## TEST ボタンの操作

100%カラーバー		1x
75%カラーバー		2x

Scan Do HD は変換された映像出力の代わりに、幾つかのテスト信号を発生します。

- ・ 100% カラーバー
- ・ 75%カラーバー

これらのテストパターンは、TEST ボタンを押すと発生します。最初に押すと 100% のカラーバー信号を発生します。次に押すと 75% カラーバー信号を発生し、再び押すとテスト信号の発生が終了し、変換された出力に復帰します。

**工場出荷状態の設定**

## 工場出荷状態へ戻す

デフォルト設定		+	
---------	---	---	---

TEST ボタンと ANITI-FLICKER ボタンを同時に押すことで、Scan Do HD の全ての機能を工場出荷時のデフォルトに素早く戻すことができます。

**ボタン操作のロック**

## ボタン操作のロック/ロック解除

ロック		+	
ロックの解除		+	

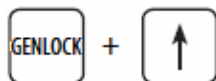
以下のボタンの組み合わせで同時に押すと、フロントパネルのボタンをロック、あるいはロック解除することができます。

- \* ロック : ZOOM と PAN
- \* ロック解除 : ZOOM と PROC CONTROL

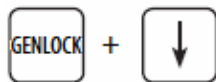
**光出力の起動/停止**

## On/Off ボタンの操作

起動



停止



光出力は、以下のボタンを組み合わせると同時に押すと起動と停止が可能です。

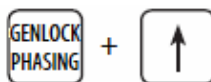
- \* 起動 : GENLOCK と上向き矢印
- \* 停止 : GENLOCK と下向き矢印(工場出荷時設定)

上記のボタンを押すと、GENLOCK PHASING の LED の H、CLK、V が一時的に点灯します。

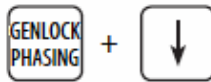
**オン・スクリーン・ディスプレイ (OSD)の起動/解除**

## On/Off ボタンの操作

起動



停止



Scan Do HD の OSD 機能は、以下のボタンを組み合わせると同時に押すことで起動と停止ができます。

- \* 起動 : GENLOCK PHASING と上向き矢印 (工場出荷時設定)
- \* 停止 : GENLOCK PHASING と下向き矢印

上記のボタンを押すと、GENLOCK PHASING の LED の H、CLK、V が一時的に点灯します。

Scan Do HD を遠隔操作するには2つの方法があります。Java V1.6(JRE 6)が可能な標準的なブラウザ(例えばインターネットエクスプローラーやファイヤーフォックス)を使い、イーサネットポートから操作が可能です。また、ASCII コマンド文字列を使い、RS-232C シリアルポートから操作が可能です。

### イーサネットへの接続

**10/100BASE-T** : 背面パネルにあるイーサネットポートは 10/100BASE-T 接続ができます。接続するハブ、スイッチ、ルーターとの接続速度は、本体が自動的に設定します。

工場出荷時設定では、接続したルーターからの IP アドレスを取得します。これは **DHCP** モードと呼ばれています。

### IP アドレスの設定と確認

接続後に本体がルーターから取得した IP アドレスを見るには、OSD 機能を可能に設定し、以下のボタンを組み合わせ同時に押すと、IP 設定が約 30 秒間ディスプレイに表示されます。

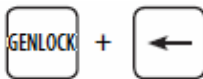
GENLOCK PHASING と 左向き矢印

Scan Do HD の電源を入れた後でイーサネットケーブルを接続した場合、以下のボタンを押してイーサネットポートをリセットします。

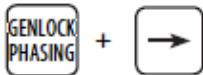
### IP アドレスの設定と確認

**Scan Do HD 本体に手で IP アドレスを割り当てることができます。Scan Do HD のリモートコントロールマニュアルを参照してください。**

IP アドレス確認



イーサネットポートのリセット



Scan Do HD を接続して、PC のブラウザ立ち上げてください。ブラウザのアドレスバーに IP アドレス、例えば `http://192.168.1.54` を入れてください。

Scan Do HD の操作画面が PC 上に表示されます。

**注** : ブラウザーに Java V1.6(JRE 6)以降がインストールされていることが必要です。ほとんどのブラウザでは標準でインストールされています。しかしながら、最新バージョンの Java は `java.sun.com` からダウンロードできます。

### RS-232C ポートの接続

**RS-232C** : このポートは標準 RS-232C シリアルポートです。信号パラメーターは

**192000, 8, N, 1**

ハードウェアまたはソフトウェアフロー制御がありません、また、ジェネリックな ic 的な TTY を使わなければなりません。標準的な PC と接続する場合、DB-9 F/M ケーブルを使います。Scan DoHD はデータ回線終端装置 (Data Circuit-terminating Equipment) として設計されています。

DB-9 コネクターのピンは以下のとおりです。

- 2 Scan Do HD からのデータ送信
- 3 Scan Do HD のデータ受信
- 5 通信用アース

**全てのコマンドのリストは、Scan Do HD リモートコントロールマニュアルに記載されています。**

全く動作していない。

- ・ フロントパネルに緑色の LED が点灯していますか。点灯していない場合、電源ケーブルがコンセントと本体に正しく接続されているか、また、背面パネルの電源スイッチが入っているか確認してください。
- ・ コンピューターのビデオ出力に直接接続された DVI モニターにより、DVI-D 信号が正しく出力されているか確認してください。

DVI ループスルーまたは SD-SDI に映像出力が無い。

- ・ ほとんどの PC で、起動時に DVI モニターが接続されていることが重要です。DVI 出力のある PC と共に Scan Do HD を使う場合、Scan Do HD の DVI 入力に PC の DVI 出力に接続され、PC を起動する前に Scan Do HD を起動することを確認してください。この手順を怠ると、PC が接続された DVI モニターを認識せず、PC の DVI 出力からの DVI 信号を全て遮断してしまいます。
- ・ TEST ボタンを押して、SDI 出力にカラーバーが現れる確認してください。カラーバーが現れれば、入力信号に問題があります。上記の状況の項目をチェックしてください。もし、カラーバーが現れなければ、問題は出力にあります。
- ・ ループスルーを使う場合、LCD のループスルー機能を停止し、外部ポートで DVI 信号の出力を試してください。

TV モニターの色がコンピューターモニターの色と異なる。

- ・ SDI モニターの色がコンピューターモニターの色と正確に一致しないのは、各機器が異なった色を再現しているからです。各モニターの色温度が異なって設定されてためかもしれません。

光出力が無い。

- ・ 光出力が起動しているか、GENLOCK ボタンと上向き矢印ボタンを押して確認してください。工場出荷時の設定は停止です。

Scan Do HDには以下のアクセサリがあります。ディーラーか弊社に直接ご注文をお願いします。

#### 光出力を同軸へ出力する。

##### ピュアーデジタル・ファイバリンク 3151 シリーズ

3151 シリーズは同軸バックボーンと光ファイババックボーンとの橋渡しが必要な放送のプロに理想的なソリューションです。弊社のウェブサイトに詳細な情報があります。

#### DVI 信号を光信号で伝送する。

##### ピュアーデジタル・ファイバリンク 7500 シリーズ

シングルモードの光ファイバ1本で、圧縮、スケーリング、調整無しにDVI信号(1920 x 1200 まで)とステレオ音声の伝送が可能です。

##### 特徴

- ・ シングルリンク DVI(640 x 480 ~ 1920 x 1200 165MHz ピクセルクロック)を伝送。
- ・ HDTV 解像度 480p、720p、1080i、1080p (DVI フォーマットのみ)をサポート。
- ・ 非圧縮、カラースペース無し、スケーリング無しのクリスタル・クリアな信号。
- ・ 光ケーブル1本のみを使用、ピクセル・スキュー無し
- ・ DVI 入力ケーブル長 15mまでをサポート。
- ・ 設置に際して調整、等価、デ・スキューが不要。
- ・ 先進の入力回路と再ロックにより、ノイズのある歪んだ入力信号を等価。

#### Scan Do HD の入力機能を拡張する。

##### Model 2100

Model 2100 VGA/コンポーネントビデオ-HDMI/DVI コンバーターは、特に Scan Do HD の入力機能の拡張に設計されています。2100 は望まない人為操作となるスケーリングを行わない、放送環境に最適な製品です。

##### 特徴

- ・ スケーリングを行わない、クリスタル・クリアな出力。
- ・ アナログ RGBHV(VGA)つきコンピューター、あるいは、コンポーネント出力付 DVD プレーヤーを HD 対応のプラズマ、LCD、DLPTV、または Scan Do HD に接続可能です。
- ・ HDMI 規格 1.0 に対応。
- ・ 1600x1200 @60Hz までの VGA 入力または HDMI(音声付)またはシングルリンク DVI(音声なし)のステレオ音声で最高 1080p 入力。

#### ケーブリング。

##### ファイバケーブル

さまざまなタイプの光ケーブルをご用意しております。PVC、プレナム、アーマージャケット等、弊社または代理店にコンタクトをお願いします。

コミュニケーションズ・スペシャルティーズ社(CSI)は、通常の使用状況の下における製品の欠陥に対して、購入日から1年間の保証をいたします。返送に際しては、CSI社よりRMA(返送承認番号)を取得する必要があります。CSI社へ製品を返送する場合、その費用とリスクはお客様の負担とします。

本保証の下で、CSI社の責務として、不具合品の無償修理または無償代替を行います。CSI社は、不具合品の修理交換に起因する、あるいは結果として起こる損害、利益や営業権の損失に対して一切の責任はないものとします。

CSI社は、火災、戦争、天才、あるいは同様の原因、あるいは弊社が許可しない者による製品の変更、不適切な設置または乱用による製品の損害に対する修理交換は一切行いません。

RMA番号は、弊社、弊社の子会社、または代理店を通して取得可能です。

Communications Specialties, Inc.  
55 Cabot Court  
Hauppauge, NY 11788 USA  
Tel : (631) 273-0404  
Fax : (631) 273-1638

Communications Specialties Pte Ltd.  
100 Beach Road  
#22-09 Shaw Tower  
Singapore 189702  
Tel : +65 6391 8790  
Fax : +65 6396 0138

RMA(返送承認)番号は、弊社のウェブサイトよりも取得が可能です。  
<http://www.commspecial.com>

製品のシリアル番号を準備ください。

**DANGER!**

Turn off unit or laser before connecting or disconnecting optical cable!

The fiber optic transmitting element in the Scan Do® HD contains a solid state Laser Diode located within the optical connector. This device emits invisible Infrared electromagnetic radiation which can be harmful to human eyes. The radiation from this optical connector, if viewed at close range without a fiber optic cable connected to the optical connector, may be of sufficient intensity to cause instantaneous damage to the retina of the eye. Direct viewing of this radiation should be avoided at all times.

**WARNING**

**TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRONIC SHOCK, DO NOT EXPOSE THIS APPLIANCE TO RAIN OR MOISTURE.**

**CAUTION**

**RISK OF ELECTRIC SHOCK. DO NOT OPEN!**

**CAUTION**

**TO REDUCE THE RISK OF ELECTRONIC SHOCK, DO NOT REMOVE COVER. NO USER SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.**



This symbol warns the user of uninsulated voltage within the unit that can cause dangerous electronic shocks.



This symbol alerts the user that there are important operating and maintenance instructions in the literature accompanying this unit.



In the literature accompanying this unit, this symbol warns the user of dangerous conditions to avoid.

- ・ DVI シングルリンク解像度
- ・ RGB、プログレッシブ または インターレース、1920 x 1200 @60Hz まで
- ・ ピクセルクロック周波数 25 165MHz

- ・ 入力 : DVI-D または DVI-I (デジタル信号のみ) アクティブ・ループスルーシングルリンク
- ・ 同軸 SDI 出力 2 系統 SMPTE 292、259
- ・ 光出 SDI 出力 1 系統 SMPTE 292、297
- ・ (1310nm、シングルモードまたはマルチモード、SC/PC、公称出力 -8.0dBm)

## 10-bit HD-SDI SMPTE 292

- |             |               |               |               |
|-------------|---------------|---------------|---------------|
| ・720/60P    | ・720/59.94P   | ・720/50/P     | ・720/30/P     |
| ・720/29.7/P | ・720/25/P     | ・720/24/P     | ・720/23.98/P  |
| ・1035/60/I  | ・1035/59.94/I | ・1080/60/I    | ・1080/59.94/I |
| ・1080/50/P  | ・1080/30/P    | ・1080/29.97/P | ・1080/25/P    |
| ・1080/24/P  | ・1080/23.98/P |               |               |

## 10-bit SD-SDI SMPTE 295 :

- ・ 525/59.94/I (NTSC)
- ・ 625/50/I (PAL)

- ・ 10-bit, フルデジタル

- ・ NTSC/PAL ブラックバースト信号 または HD トライレベルシンク
- ・ HD 解像度は NTSC/PAL ブラックバースト信号と同じ垂直レートで同期
- ・ パッシブ・ループスルー
  - ・ 1出力垂直時間の水平、垂直、クロック位相と 840ps 解像度

- ・ 輝度
- ・ コントラスト
- ・ ヒュー
- ・ カラー・サチュレーション
- ・ シャープネス

- ・ 水平、垂直個別の位置調整
- ・ 拡大、縮小、水平、垂直方向別 または 同時

- ・ 10/100Base-T イーサネット LAN ポート経由 HTML
- ・ RS-232C ポート
- ・ 前面パネルプッシュボタン

- ・ 可変フリッカー低減
- ・ テストパターン発生器 : 100% カラーバー、75% サチュレーション
- ・ リモートコントロールによる、複数の設定機能の記憶と呼出
- ・ OSD (オンスクリーンディスプレイ)
- ・ 工場出荷時設定へのリセット
- ・ ラックマウント・キット付
- ・ RoHS 指令対応

- ・ 42.5 W x 44H x 254 D (mm)
- ・ 2.49Kg

- ・ 内蔵ユニバーサル AC 電源
- ・ 95 250VAC、47 93Hz
- ・ 20 W

製造番号

---

購入日

---

購入先

---

設置者名

---

設置場所

---

設定情報

---

---

---

---

---

---

---

---

---



## 出力フォーマットボタンの操作

走査線数の変更



垂直レートの変更



レート分割の変更



インターレース/プログレッシブの切替



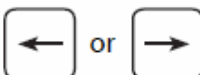
## PAN ボタンの操作

PAN モードに入る

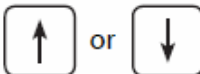


LED 点灯まで

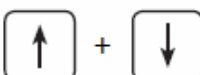
左右に移動



上下に移動



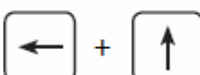
垂直中心へ移動



水平中心へ移動



左上角へ移動



左下角へ移動



右上角へ移動



右下角へ移動



## ズームボタンの操作

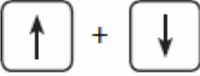
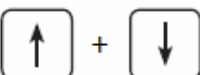
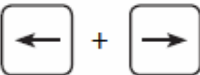
パラメーター選択



拡大



縮小

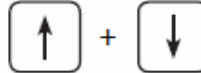
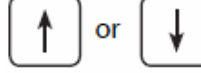
フルスクリーン  
アスペクトレシオ  
を維持フルスクリーン  
水平、垂直

## PROC CONTROL ボタンの操作

パラメーター選択



設定値 増減



## ゲンロックボタン操作

設定/解除



## ゲンロック位相ボタンの操作

パラメーター選択



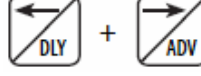
遅く設定



早く設定



ゼロにリセット



## アンチ・フリッカーボタンの操作

自動モード



LED 消灯まで

手動モード



LED 点灯まで

レベルの設定  
1-8 段階

LED 点灯中

## TEST ボタンの操作

100%カラーバー



1x

75%カラーバー



2x

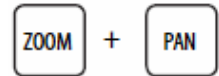
## 工場出荷状態へ戻す

デフォルト設定



## 前面パネルのボタン操作ロック

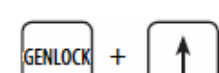
ロック



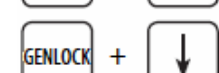
ロックの解除



起動

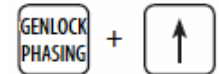


停止

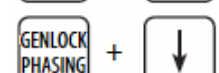


## 光出力の起動/停止

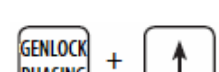
起動



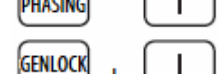
停止

オン・スクリーン・ディスプレイ  
(OSD)の起動/解除

起動

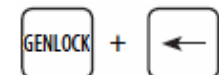


停止

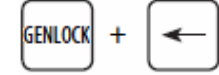


## IP アドレスの設定と確認

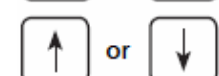
IP アドレス確認



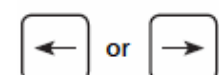
編集モード



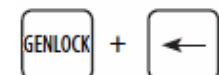
設定値の変更



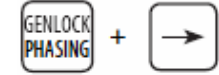
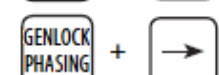
カーソル移動



変更のセーブ



キャンセル

イーサネットポ  
ートのリセットCSI Communications  
Specialties, Inc.

(631) 273-0404 | commspecial.com

Check for Scan Do® Updates at:

scandohd.tv

